

**海岸島しょ地域における促成栽培ミディトマトの品種特性**

ミディトマト品種「シンデイスイート」「C2-505」「フルティカ」「カンパリ」において、「カンパリ」は、可販果収量が多く、1果重が重い、糖度は低い。「シンデイスイート」は、糖度が高いが、1果重が軽く、可販果収量は少ない。「C2-505」「フルティカ」は、可販果収量および糖度とも「カンパリ」「シンデイスイート」の中間である。

農業研究センター天草農業研究所（担当者：堤 泰之）

**研究のねらい**

天草地域ではミニトマトの生産が行われているが、近年、高齢化等により作付面積は減少傾向にある。また、現在ミニトマト生産に取り組む農家においても作業の負担軽減が課題となっている。そこで、ミニトマトより収穫果数が少なく収穫時の負担が軽いミディトマトについて、品種特性を把握する。

**研究の成果**

1. 可販果収量は、可販果率が高く1果重も重い「カンパリ」が最も多い。続いて「C2-505」、「フルティカ」の順に多く、最も少ないのは「シンデイスイート」である(表1)。
2. 不良果の内訳は、全ての供試品種において小果の割合が高い(表2)。特に、1果重が軽い「シンデイスイート」は、小果の割合が高い(表1、表2)。
3. 「シンデイスイート」は、収穫期間をとおして糖度が高い。「フルティカ」は、2月までは「シンデイスイート」並であるが、3月以降は低下する。「C2-505」の糖度は、2月以降6.5～7.0度の間で推移する。最も低い品種は、「カンパリ」である(図1)。
4. 生育は、葉長・葉幅が長く、葉色が濃く、莖径が大きい「フルティカ」が最も旺盛である。「カンパリ」の葉長・葉幅は、他の供試品種と比べて小さく、収穫果房数はやや少ない(表3)。

**普及上の留意点**

1. 本試験は、天草農業研究所内の硬質フィルムハウスで行った。
2. 定植は、第1花房開花期に行った。誘引法は、斜め誘引とした。
3. 収穫期は、果実全体に着色が進んだ完熟期とする。

表1 ミディトマトの収量および可販果の1果重

品 種	平成22年度			平成23年度		
	総収量 kg/10a	可販果 kg/10a	1果重 g/果	総収量 kg/10a	可販果 kg/10a	1果重 g/果
シンデイスイート	12,649	11,415 (90)	31.4	13,970	11,122 (80)	25.9
C2-505	18,416	17,395 (94)	37.1	16,904	15,619 (92)	35.2
フルティカ	14,247	13,650 (96)	39.4	16,684	15,457 (93)	35.5
カンパリ	19,458	19,082 (98)	52.7	16,554	15,860 (96)	45.4

※( )内は、可販果率。

※定植:H22.9.9、H23.9.20

※収穫期間:H22.11.8~H24.5.30、H23.11.14~H24.6.8

※栽植密度:2,000株/10a(畝間200cm×株間50cm,2条植)

※基肥:(H22,H23)N:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O=12:20:10kg/10a

※追肥:(H22)N:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O=14:5:7kg/10a、(H23)N:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O=7:9:9kg/10a

表2 不良果の原因別重量

年 度	品 種	小果 kg/10a	裂果 kg/10a	乱形果 kg/10a	空洞 kg/10a	すじ腐果 kg/10a	その他 kg/10a
H22	シンデイスイート	1,101 (9)	37 (0)	86 (1)	-	-	10 (0)
	C2-505	653 (4)	251 (1)	93 (1)	-	24 (0)	-
	フルティカ	375 (3)	110 (1)	111 (1)	-	-	-
	カンパリ	303 (2)	0 (0)	34 (0)	39 (0)	-	-
H23	シンデイスイート	2,608 (19)	93 (1)	109 (1)	--	--	39 (0)
	C2-505	700 (4)	267 (2)	157 (1)	39 (0)	13 (0)	108 (1)
	フルティカ	500 (3)	126 (1)	276 (2)	--	--	325 (2)
	カンパリ	279 (2)	16 (0)	84 (1)	185 (1)	7 (0)	123 (1)

※( )内は、総収量を100とした時の割合

※小果は、1果重が20g未満の果実。

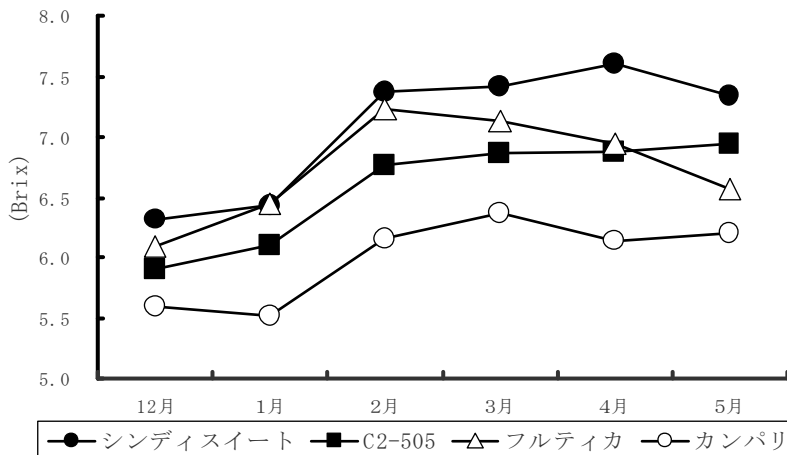


図1 ミディトマト可販果の糖度の推移 (平成 23・24 年度平均)

表3 ミディトマト品種の生育(平成22年度)

品 種	草丈 cm	葉長 cm	葉幅 cm	葉色 SPAD	莖径 mm	収穫果房数 段
シンデイスイート	642.9	42.0	43.1	45.2	12.7	23.5
C2-505	671.4	39.8	44.2	45.8	13.6	23.4
フルティカ	704.9	42.3	44.9	55.7	13.9	22.4
カンパリ	685.0	37.1	39.2	51.5	13.1	22.2

※葉長、葉幅、葉色、莖径は、第10、15段果房下の複葉及び莖径の平均値。

※草丈は、収穫終了後に計測した。